

令和元年 8 月 28 日

GKP チーム九州活動報告

「ゆめみらいワーク」に協力、パネル展示で下水道の効果 PR

GKP チーム九州は、北九州市が主催する「ゆめみらいワーク」※1の「明日の北九州市を創る建設業」※2のブースにおいて、紫川などの河川のビフォーアフターのパネルを展示し、下水道事業の効果に来場者に PR した。

この展示は、西日本総合展示場新館（昨年の下水道展の開催会場）で 8 月 23 日（金曜日）と 24 日（土曜日）の 2 日間行われ、GKP チーム九州の松井正樹代表や、八代市役所の南浩一氏など延べ 10 名のメンバーが、説明員として参加した。

写真（会場で説明をする GKP チーム九州のメンバー）





※1 「ゆめみらいワーク」

地元企業と北九州市の魅力をも、若者に伝えることで、自分にあった職業の選択と将来の地元就職を働きかけるイベント。平成27年度から開催し、今年が5年目となる。今年も、企業・団体・学校など129者が出展し、来場者は2日間で延べ7504名。高校生の団体入場は、市内22校、県内8校、県外1校であった。

※2 「明日の北九州市を創る建設業」

地元の建設関係団体（北九州市建設業協会、北九州港湾建設協会、門司建設業組合、北九州GIS測量協会、北九州市建設コンサルタント協会）5団体と共に、建設業をPRするブースを出展。来場者は2日間で延べ約1000名。

測量ブース	ドローン操作体験、立体3D地図、測量機器の展示など
設計ブース	トンネル点検車の展示、下水道管渠調査ロボットの操縦体験、3D道路データを使用した走行シミュレーション体験など
工事ブース	左官作業体験、木材加工体験、バリケード組立体験など